

作成年月日	令和2年6月1日
作成課室名	企画県民部ビジョン局ビジョン課

ポストコロナ社会の提案募集の状況

1 提案の状況（5/29受付分までで計87件）（別添）

① コロナ対策（社会貢献事例の情報募集）（21件）

- ・ 学術的技法を利用し、呼吸時のマスク周辺の気流構造を解明、正しい知識を啓発
- ・ 自宅待機中の母親らを支援するオンライン上の子育て広場を開設
- ・ クイズ形式で学べる学習支援アプリで家庭学習を支援
- ・ 淡路島に縁のある大学生に「ふるさと福袋」としてメッセージと淡路産品を発送 等

② コロナ対策（新たな取組のアイデア募集）（36件）

- ・ 創薬開発機構と連携して新型コロナウイルス増殖阻害剤開発
- ・ インフルエンザと新型コロナウイルスの予報技術により同時流行を予防
- ・ 介護事業所などへの調査を行い第二波以降に備えた在宅ケアシステムの進化
- ・ 起業支援ばかりでなく廃業支援も強化
- ・ SNSによる情報発信を得意とする学生とコミュニティビジネス運営団体をマッチング
- ・ 船舶の安全性をPRし、ナイトタイムエコノミーや付加価値ある少人数でのクルーズ 等

③ ポストコロナ社会の提案（30件）

- ・ 海外に依存しない社会(国内観光促進、製造業国内回帰、国内未就労者の活用等)
- ・ 神戸・大阪から1時間ほどでの場で二地域居住の社会実験を実施
- ・ ポストコロナモデル特区を指定し、ICTを活用したまちづくりを推進
- ・ 科学的知見により、個人に合った時差出勤やテレワーク時の健康維持など健康的な働き方を普及
- ・ 空の移動の活性化（小型機専用の離着陸場を各地に開設、空飛ぶ自動車の開発）等

2 提案の取扱い

- ・ ①は、順次県HPに掲載して発信（ビジョン課で収集した事例の情報も合わせて発信）
- ・ ②③は、実施の可否等を関係部局で検討（優れた提案は共同事業化や支援策を検討）
- ・ ③は、県において今後検討を進める「コロナ危機を契機とした社会変革政策（仮称）」や現在検討を進めている新たな将来ビジョンに反映

3 受付期間について

- ・ ①②の受付期日を5月末から1カ月延長（6月末までの提案について具体化を検討）
- ・ ③は当面受付を継続（具体化の検討は6月末までの提案を対象に実施）

4 今後のスケジュール

- 5月～ 「ポストコロナ社会」提案募集に対する対応方針の検討
- 8月 「ポストコロナ社会」提案募集の結果取りまとめ
コロナ危機を契機とした社会変革政策の「基本的な考え方」発表
- 9月～ 次年度重要施策検討、当初予算編成
- 2021年2月 次年度当初予算におけるコロナ危機を契機とした社会変革政策発表

【問合せ先】

企画県民部ビジョン局ビジョン課 TEL 078-362-3034

ポストコロナ社会の提案の内容（5月29日受付分まで）

① 社会貢献事例（21件）	
	提案内容
1	【マスク着用の効果解明：個人（大学教員）】 学術的技法を利用して、呼吸時のマスク周辺の気流構造を解明し、正しい知識を啓発
2	【医療機関の体制整備：企業】 遠隔ICUシステムの一定期間無償提供
3	【帰宅困難シェルターの提供：企業】 医療従事者のための緊急回避的な帰宅困難シェルターの提供
4	【防護物資不足に対する新規開発と無償対応：企業】 3Dプリンタによる個人防護具制作のための三次元設計データ、造形品無償対応
5	【医療資機材等の新規開発：企業】 簡易陰圧システム、フルフェイスマスク等の新規開発
6	【医療資機材等の寄贈等：企業】 特別支援学校等への噴霧装置や電解次亜塩素酸の寄贈等
7	【フェイスガードによる感染防止対策：企業】 100円均一商品を使った簡単な透明フェイスガードの作り方
8	【新しい風習「お春元」：企業】 営業、新年度挨拶もできないので、お世話になった人や企業に新しい風習「お春元」を送る
9	【飲食店グルメサイトの無償提供：企業】 飲食店を応援するために明石飲食店グルメサイト「ONE TEAM」を無償で制作・運営
10	【買い物代行サービス：個人（公務員）】 路線バスを活用して食品や日用品などの買い物を代行するサービスを開始
11	【オンラインセミナー：個人（大学教員）】 世界の学生と神戸学院大生のグローバル・セミナーのオンライン開催
12	【家庭学習支援：企業】 学習アプリ「はやべん」による休校中の子ども達への学習支援
13	【生涯学習支援：個人（公務員）】 オンラインで動植物を観察できるサイトを開設（動物は3D画像化）
14	【大学生にふるさと福袋：地域団体】 淡路島に縁のある大学生に「ふるさと福袋」としてメッセージと共に淡路産品を発送
15	【オンライン子育てひろば：NPO】 自宅待機中の母親らを支援するオンライン上の子育て広場を開設
16	【女性の活動の場の提供：団体】 母親を対象とした参加型バレエやオンラインのリフレッシュ、出会いの場等を運営
17	【高齢者向け運動パンフレット：団体】 高齢者等向けの自宅でできる簡単な運動を紹介するパンフレットを無償配布
18	【オンラインフィットネス：企業】 オンラインによるフィットネスレッスン
19	【スポーツ選手によるオンライントレーニング：企業】 女子バレーボールJTマーヴェラスと一緒に自宅で簡単なトレーニングができる動画配信
20	【オンラインヨガ：個人】 オンラインヨガ動画配信
21	【コロナ関連情報発信：企業】 コミュニティチャンネルや独自アプリでのコロナ関連情報の発信

② 新たな取組アイデア（36件）

	提案内容
1	【新型コロナウイルス増殖阻害剤開発：個人（大学教員）】 レムデシビル、アビガンはRNA合成酵素の能力を阻害しウイルス増殖を抑制するが、本案はそのRNA合成酵素が細胞内で作られないようにする薬剤を創薬開発機構と連携して開発
2	【新型コロナウイルス予報の研究：企業】 実証実験を行っているインフルエンザ予報に加え、新型コロナウイルスへの適用を目指し、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行を予防（自治体のデータも融合）
3	【PCR検査能力拡大対策：個人】 簡易ブースで保護した検査室設置による公民館等でのPCR検査実施
4	【医療機関の体制整備（遠隔ICU）：企業】 遠隔ICUによる病床の確保、効果的な医療の提供、働き方改革の推進
5	【医療機関の体制整備（医療品備蓄倉庫）：個人】 兵庫県内の各災害拠点病院における医療機関配布用の医療品備蓄倉庫設置
6	【感染症病棟の確保：企業】 スポーツセンター・体育館・公民館の臨時隔離病棟化
7	【障害者事業所との連携による医療物資調達：NPO】 障害者事業所へのコロナ対策に必要なマスク等の医療物資の発注
8	【抗菌めっき技術の普及：企業】 高機能抗菌めっき技術を顧客ニーズに精通した関連業者に広く技術開放し、幅広い分野での活用をめざす（現在、新型コロナウイルスへの効能確認の検討を進めている。）
9	【施設の感染防止対策：個人】 高性能光触媒による施設等での防ウイルス対策
10	【施設での飛沫感染対策：企業】 病院、スーパー等での飛沫防止スクリーンによる飛沫感染対策
11	【手洗いの手法の見直し：企業】 手洗い後のペーパータオル利用、閉栓時のレバー活用
12	【学校等の感染防止対策：個人】 運動時にフェイスカバー付き帽子を着用（マスクで運動は危険）
13	【換気による感染防止対策：個人】 緊急事態措置緩和後の人が集まる場所（学校等）の換気方法
14	【技術を活用した感染防止対策：個人（学生）】 ①服屋、化粧品販売店など手で触れることなく試着等を可能化 ②エスカレーター、手すりなどに取り付け可能な除菌システムの導入 ③レインコートや虫よけブレスレットのように菌を体に寄せ付けない商品の開発 ④まるで会っているかのような感覚になる等身大のスクリーンの開発 ⑤検査を素早く簡単に、医療従事者の負担にならないような検査機械の開発
15	【コピー需要の高まりへの対応：個人】 行政手続に必要な書類のコピー難民対策（公的機関での対応等）
16	【行政窓口の3密回避策：個人】 病院に倣って窓口の順番待ち効率化、全庁での仕事の割振、職員の業務改善提案の促進
17	【安全な事務作業：個人】 給付事務など市役所窓口で多くなる事務を安全に行う労働環境の整備
18	【健康づくり：個人】 高齢者の健康のため顔体操を普及

19	<p>【受動喫煙対策：個人】 飲食店において留保を付けずに禁煙化</p>
20	<p>【第二波以降に備えた準備：個人（学生）】 ①マイナンバーカードを使わずインターネットだけで、住民票や申請書の申し込みを可能に ②感染症患者とそうでない患者の接触を減らすため、オンライン診断などを可能に ③老舗や中小企業、飲食店、ライブ会場、アーティスト、花屋などをコロナなどの感染症の危機から救える社会に（最低三か月分の資金を貯めておく仕組みの構築など） ④すべての会社の商品がネット通販可能に ⑤テレワーク、時差出勤、オンライン授業の推進。家族間、下宿先などでの感染対策等 ⑥ホームレスの方やネットカフェに住む人々の暮らしを支える（仮設マンションなど） ⑦余裕のある対応ができる社会（マスクなど最低限必要な物資を確保できる企業へ）</p>
21	<p>【第二波以降に備えた準備：個人】 ①「不要不急」「自粛」等の曖昧なスローガンに代わる、科学的な行動を促す適切な言葉遣い ②役所が必要に応じて地域団体等に協力要請を契約できる仕組みを設けるなど県民参画 ③候補者の顔が見える選挙、こういう人に投票したいと思える人が分かる選挙に</p>
22	<p>【第二波以降に備えた在宅ケアシステムの進化：個人（大学教員）】 在宅ケアを支える医療機関・事業所、介護事業所などを対象にした新型コロナウイルス感染症への対応、想定される第2波・第3波への備え、専門職をはじめとするステークホルダー間の連携上の課題などについて調査</p>
23	<p>【業態変化への対応等：個人（公務員）】 ①出張サービスや家事代行に乗り出す飲食店への支援を実施 ②起業支援ばかりでなく廃業支援も強化 ③地方への移住の壁になる学校教育の水準の地域格差をオンライン教育で解消 ④抗体検査と希望者への証明書発行による不安払拭</p>
24	<p>【スモールビジネスを始めやすい環境整備：企業】 スモールビジネスを始めやすい環境を整備するため、オンライン上で提供側も購入側も自宅で決済が可能となる決済サービスの普及</p>
25	<p>【安定的な集客の確保：個人】 ①店舗の無人化を促進 ②地域の商店の総合オンラインサイトを開設（デリバリー対応等） ③ホテル、観光地、商店街、地場産業を連動させたツアーを開発</p>
26	<p>【県内店舗紹介ウェブサイト：個人（学生）】 ホームページ作成に抵抗があり、広告を掲載するための費用を割けない経営者のために兵庫県内の店舗に限り掲載でき、かつ無料のウェブサイト、スマホアプリを展開</p>
27	<p>【動画の活用：企業】 誰もが動画を使いこなせるようになる「みんな動画プロジェクト」を実施</p>
28	<p>【仕事のマッチング：個人】 資格がなくてもできる仕事と仕事がなくなった人をマッチング</p>
29	<p>【大学生の能力の活用：NPO】 SNSによる情報発信やデザインを得意とする学生と高齢者が中心のコミュニティビジネス運営団体をマッチング（学生はリモートワークによる外部クリエイターとして活動）</p>
30	<p>【withコロナ時代の旅客船：団体】 ・医療従事者等の観光船への招待や、船舶の安全性を改めてPRし、ナイトタイムエコノミーの実施や少人数での付加価値のあるクルーズを実施等</p>
31	<p>【兵庫県限定御朱印帳プロジェクト：NPO】 兵庫県内の若者に兵庫県限定の御朱印帳を無料で配布、マイペースな県内の旅をスタンプラ</p>

	リー感覚で促し、全ての御朱印を集めた県民には県内某所で景品を渡すなど娯楽性を演出
32	【ドローン×VRによる仮想旅行：個人（学生）】 ドローンで撮影するリアルタイムの景色映像をレンタルVRで提供するビジネスモデル構築
33	【農家を守る取組：個人（学生）】 ①パソコンやスマートフォン上のウェブサイトおよびSNSを利用した「兵庫県のみの生産物の販売」をコンセプトにし、オンラインストアの設立や運営 ②マイナンバーカードを使用し行政機関がオンラインストアを経由して全国の生産物を消費者に届けるサービス ③家族で農業体験
34	【芸術のリモート鑑賞：個人】 芸術文化公演について、空席にWi-Fiカメラを設置し、有償でのリモート鑑賞を提供
35	【知事記者会見における工夫：個人】 知事記者会見の改善（知事の化粧、背景の刷新、川柳等字幕の工夫）
36	【県政の積極的発信：個人】 報道番組等での県の状況の積極的な発信

③ ポストコロナ社会（30件）

	提案内容
1	【自立的な社会づくり：個人（大学教員）】 ①テレワークの拡大による育児・介護の家庭回帰促進 ②オンライン化による教育・医療の地域格差是正、移動の負担軽減 ③宅配・移動販売の促進による買い物難民の解消 ④インバウンド消費に依存しない観光集客による地域活性化 ⑤食料とエネルギーの自給率向上（海外依存度の低下） ⑥サプライチェーンにおける中国依存の是正（東南アジアへ分散） ⑦製造業における国内生産への回帰促進 ⑧国内未就労者の活用による技能実習生への依存低減
2	【郊外への移住：個人】 ①非・避難地域の評価と告知 ②通信インフラ進化と網羅 ③物流システム拡充と多様化 ④人工光植物栽培研究と普及 ⑤新しい価値観で生まれた事業を支援
3	【二地域居住の推進：団体】 神戸・大阪から1時間ほどでの立地である西脇市において、柔軟かつ弾力的に、暮らしと仕事の安心・安全を保てるよう、二地域居住（デュアルライフ）を推進した社会実験を実施
4	【ワーケーションの推進：企業】 ワーケーション受入のため、滞在者用の住宅（旅館等）、IT環境等の整備を行うとともに、福利厚生サービスとの連携や企業版ふるさと納税の活用など利用者の確保等の仕組みを構築
5	【田舎での暮らし：団体】 地方（田舎）の自然豊かな環境の中で仕事と生活を両立する社会の実現（本社移転、サテライトオフィス設置費の支援、移転等に要する経費の移住者・定住者への支援、交流サポートセンターの設置）
6	【ポストコロナモデル特区の指定：個人（大学教員）】

	特定の地域を「ポストコロナモデル特区」と位置づけ、ICTを活用したまちづくりを集中的に推進し、ポストコロナ社会の新たな暮らしを具現化
7	【地域通貨の活用：個人（公務員）】 地域通貨を県が発行。県民一律10万給付。飲食店、ホテル等で消費するシステム導入
8	【マイナンバーカードの活用：個人（大学教員）】 自らマイナンバーに紐付け個人情報をネット上で記入するデジタルカード(マスクなどの在庫公開と優先購入、口座とリンクし給付金早期支給、納税者番号とリンクし緊急融資等)
9	【働き方の見直し：個人】 テレワークの有効性を積極的に活用、リモートオフィスを市民のために整備
10	【健康的な働き方：個人（大学教員）】 ①労働者各個人のクロノタイプ（朝型、夜型）を科学的に評価し、各個人の生理的リズムに適した労働時間帯を個別に設定することにより時差出勤を施行 ②テレワーク時の健康維持について特に生活リズムの観点から科学的実証に基づいて、企業、個人に対する健康教育並びに提言
11	【認定農業者の組織化：企業】 「淡路玉葱」「御津大根」「揖保川トマト」のような高技術の農業プロ集団を養成し、その集団を組織化
12	【県民参加型農業の促進：個人】 ①利用されていない土地に安価で大規模な県営農園を各地に設置 ②都心部から農園までの交通機関を整備（シャトルバス等） ③安価な宿泊施設を併設（公営施設・空き家を活用） ④地元民に有償で作物の育成指導や農園管理を依頼（地域活性化） ⑤滞在者が米、大豆、麦等の主要作物育成を手伝い（人手不足対策） ⑥ふるさと納税制度を利用して貸農園開発の資金源を確保
13	【交通サービスの高度化：個人（大学教員）】 乗降客の様々なニーズに対応する交通コンシェルジュの設置（ノーマイカーデーを実行性あるものとするための公共交通利用）
14	【空の交通の活性化：個人（大学教員）】 ①小型機専用の離着陸場を各地に開設して空の交通を活性化 ②設置した離着陸場を活用して空飛ぶ自動車を開発
15	【オンライン教育の推進：個人（大学教員）】 ①高校・大学教員向けにオンライン教育の教材・教授方法を開発 ②オンライングループワークソフトの開発と地域づくりへの応用
16	【オンライン教育の推進：個人（学生）】 市がオンライン学習担当の部署を設置。市からパソコン等を持っていない家庭にiPadやパソコン、Wi-Fiを貸出（市のコールセンターでネット環境等は対応）。質問できる時間を確保
17	【SDGsラーニングコミュニティ：企業】 ネットワーク上で兵庫未来人材（仮称）を育成する仕組みを構築
18	【高齢者施設で農園整備：個人（公務員）】 ①高齢者施設と園芸療法士のマッチング（ニーズ調査の実施） ②自治体、高校等との連携による農園芸の実践（効果：認知症予防、農産物の自給、耕作放棄地の活用、地域との関係構築等）
19	【高齢者専用銀行の創設：個人】 地方銀行の新たなビジネスモデルとして高齢者とその家族を顧客に、①お金に関する相談、②ニーズに応じたサービスの提供、③生活支援サービスの紹介等を行い、高齢者の金銭面の不安を解消

20	<p>【持続可能な在宅医療：企業】 オンラインセミナーなどによる在宅医療の啓発、療養住環境のシミュレーション実施</p>
21	<p>【新たな救急搬送システム：企業】 官民連携したITを活用した高齢者救急搬送システムの導入</p>
22	<p>【レジリエンスのある社会：個人】 ①避難所へのテントの配備 ②低収入の若者による中高年者へのSNS・Zoom等の講習 ③息抜きや仕事に使える公共シェア空間の整備 ④高品質の保存食の開発、⑤避難所等への自家発電機の整備</p>
23	<p>【地域防災の見直し：企業】 ①自宅避難の奨励 ②地域独自に備蓄 ③自主防災組織による買物代行や共同調達 ④自宅療養者に対する地域での支援 ⑤自主防災組織の体制刷新</p>
24	<p>【避難訓練の新たな手法：個人】 家族・子供・街の住人が避難訓練ごっこをするイベント、そのイベントが大規模にできるようなテーマパークの創設</p>
25	<p>【大学と地域が連携した地域活性化：個人（学生）】 若い世代の学生が企業や地域など社会的影響力のある団体と協力して、地域の人との交流イベントを実施</p>
26	<p>【県民総アバター化計画：企業】 電子空間の中に仮想兵庫県を作り出し、交流のフロントのほか、観光、医療、教育など県民ならその中を自由に行き来可能な場</p>
27	<p>【体内へのチップ埋め込みによる生体AI化：個人】 体内にマイクロチップ（AI）を埋め込み、個人認証、健康管理を自動化し、教育、医療、就労、買い物等を飛躍的に効率化・非接触化</p>
28	<p>【新ビジョン策定時の視点：個人】 地球規模を視野に入れた人づくり、ものづくり、政策づくりが大切</p>
29	<p>【新ビジョン策定時の視点：個人】 高齢者が安心して暮らせる町づくり、子育て中の母子支援を充実させるために、自治体、社会福祉協議会の充実</p>
30	<p>【ウェブディスカッション：個人（大学教員）】 多彩な業種を巻き込んだ座談会式ウェブディスカッションの場の提供</p>